

英語学科		教授	上野 直子	大学院の授業担当 有
教育活動				
教育実践上の主な業績		年月日	概要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)				
1	学生の授業参加意識を高める工夫として	2004年4月～現在	<p>講義を進めるにあたっては、講義でとりあげている内容が学生の日常とは遠い世界のできごとであっても、そこになんらかの関連性を見出せるように工夫をしている。</p> <p>小規模クラスのみならず、大規模のクラスにおいてもコメントペーパーを学生に提出してもらい、後の授業時にとりあげるとともに、興味深いものはハンドアウトにして、学生にフィードバックしている。これを繰り返すうちに、学生のコメントペーパーは、質量ともに向上し、授業への参加度も高まるように思われる。</p>	
2	授業時以外での学習を効果的に進めるための工夫として	2006年4月～現在	<p>小規模クラスの演習型の授業においては、MLを利用し、授業時以外の学習を効果的に進める工夫をしている。受講生は、授業に先立ってプレゼンテーションの資料をMLを通じて送り、また授業後には、資料の訂正や他の受講生から出た質問への回答などを送っている。これにより、授業の時間だけではカバーできない量の学習が可能となっている。</p>	
3	学生による授業評価の活用	2004年10月～現在	<p>授業評価アンケートの結果を次学期の授業改善に役立てている。また理由があって学生の要望に応えられない場合(使用教材の難易度などについて)は、その理由を説明し、学生の意欲の維持に努めている。</p>	
4	学際的総合講座のコーディネート	2012年～現在	<p>全学学生を対象とした学際的な授業のコーディネートを発案し、コーディネートと授業の一部を担当している。具体的には「ジェンダーで眺めてみれば」というタイトルで、わたしたちの生活および、学問分野のあらゆる場面に関係する「ジェンダー」の幅広い視座を学生に提供することをめざし、多彩な講師による授業を展開している。</p>	
2 作成した教科書、教材、参考書				
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
4 その他教育活動上特記すべき事項				
学会等および社会における主な活動(学外の委員、役職等)				
年月日		活動内容		
1992年～現在		日本アメリカ文学会会員		
2003年～現在		日本女性学会会員		
2005年7月～2007年7月		千葉市女性センター市民講座講師(年2回)		
2004年12月・2006年7月		お茶の水女子大学21世紀COEプログラム・ジェンダー研究のフロンティア、コメンテーターおよび司会		
2006年～現在		日本英文学会会員		
その他				